

# 広報

# けせんぬま・もとよし 広域

2026.3.1

No.86

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合  
(気仙沼市赤岩五駄鱈 43-2 / TEL:0226-22-9111)

## 第10回

## 気仙沼・南三陸

# フォトコンテスト 入賞作品決定!!

### 入賞作品等 20点による展覧会を開催!

(於:リアス・アーク美術館 / 会期:2月19日☎~4月24日☎)

- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品……………②
- 令和8年度組合一般会計予算……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- 広域消防 令和7年消防統計……………⑥
- 林野火災(山火事)を防止するために……………⑦
- リアス・アーク美術館からのお知らせ……………⑧

### 最優秀賞

『 神割崎、光の狭間 』(神割崎)  
荒谷 拓実 さん(石巻市)

優秀賞



『急行・命を繋げ』(浪板)  
藤村 和也 さん(気仙沼市)

優秀賞



『神付く』(入谷八幡神社例大祭)  
小原 智子 さん(仙台市)

佳作



『抜穂祭』(羽田神社の田んぼ)  
畠山 真利子 さん(気仙沼市)



『冬の銀河に恋した夜』(小泉海岸)  
澁谷 貴代 さん(仙台市)



『天空の島』(岩井崎)  
藤原 栄一 さん(埼玉県春日部市)



『ほたる川、再び』(本吉町津谷川)  
小野寺 清春 さん(南三陸町)



『愛宕神社祭典』(大谷)  
小野寺 洋樹 さん(気仙沼市)



『成長を願って』(志津川 入谷神社境内)  
藤島 純七 さん(仙台市)



『棒掛の列に実の秋を想う』(入谷)  
千葉 郁子 さん(南三陸町)



『朝焼け クルージング』(大島 田中浜)  
藤村 和也 さん(気仙沼市)



『小さな勇気、大きな翼』(南町海岸～大島)  
高橋 克幸 さん(東京都文京区)



『ちょっとだけ気嵐“気仙沼の想い出撮れたかな”』  
(魚市場岸壁) 植木 秀雄 さん(栃木県宇都宮市)

賞候補

▽「操業準備良し」  
藤村 和也 さん(気仙沼市)

▽「増えていく灯り、気仙沼の夜」  
佐藤 剛士 さん(気仙沼市)

▽「日の出と共に」  
首藤 正明 さん(南三陸町)

▽「赤坂公衆園、母娘並んで」  
荒谷 拓実 さん(石巻市)

▽「時化模様」  
昆野 三津男 さん(気仙沼市)

▽「とっぞ。」  
小野寺 清春 さん(南三陸町)

▽「第八大喜丸、サンマ漁へ」  
佐藤 信生 さん(気仙沼市)

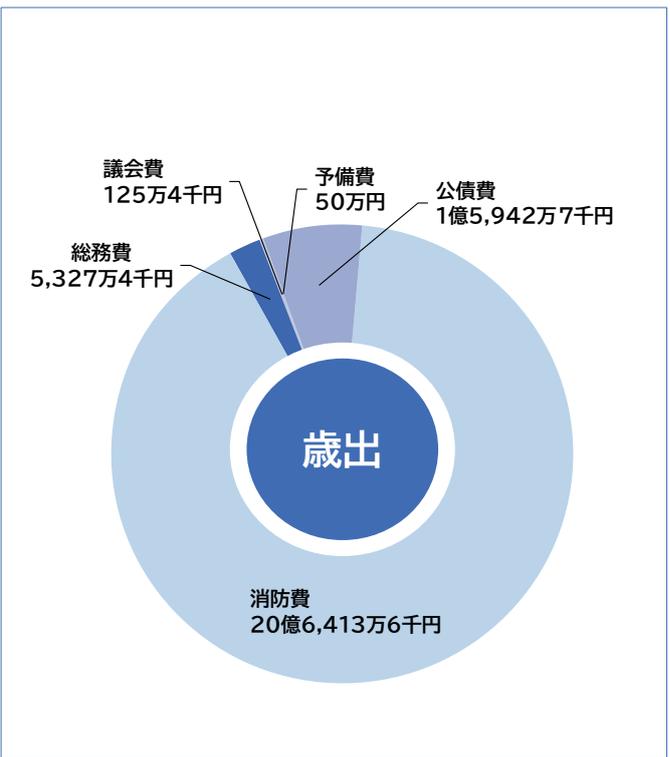
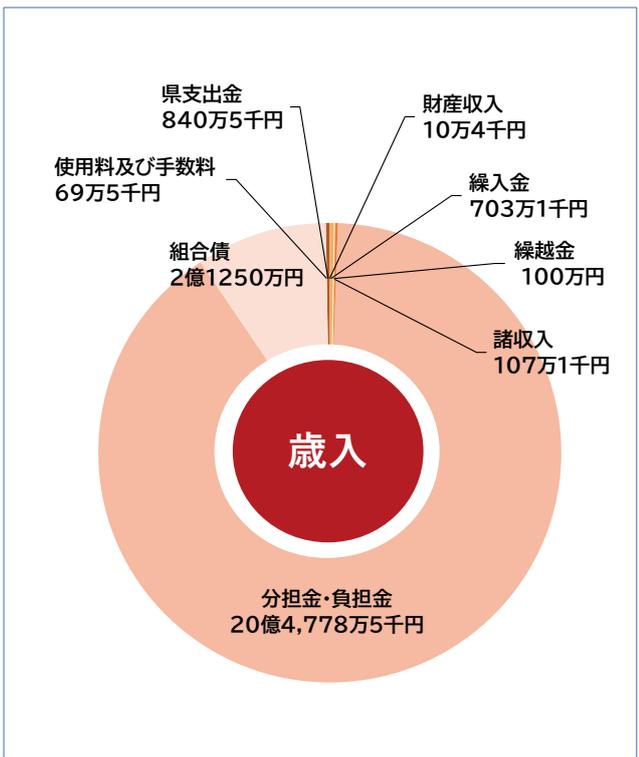
「未来に残したい、私たちの今」をテーマに気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、第10回気仙沼・南三陸フォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、38人の方から86点の作品をご応募いただきました。

審査は、1月9日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏(斎藤秀一写真事務所・仙台市)より、「圏域外にお住いの方々からの応募が多く、斬新で新しい写真が多くありました。地元の視点ではなく、外部からの視点で見ることにより、圏域の新たな良さを発見できるような写真が増えてきたように思います。」との総評をいただいております。

# 令和8年度 一 般 会 計 予 算

総額 **22億7,859万1千円**

令和8年2月9日に開かれた第236回組合議会定例会において、『令和8年度一般会計予算』が原案のとおり承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。



## 歳出の主な内容

<p><b>議会費 125万4千円 (0.05%)</b> 組合議会運営費</p> 
<p><b>総務費 5,327万4千円 (2.34%)</b> 一般事務費</p> 
<p><b>消防費 20億6,413万6千円 (90.59%)</b> 防災・消防・救急活動費・施設管理費等</p> 
<p><b>公債費・予備費 1億5,992万7千円 (7.02%)</b> 組合債の返済金等</p> 

## 令和8年度の主な事業

- フォトコンテスト
- 高規格救急自動車の更新
- 消防ポンプ自動車の更新
- 消防指揮車の更新
- 気仙沼消防署本吉分署建設事業造成工事
- 南三陸消防署職員待機宿舍解体工事

※()内は構成比

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分	全職種
支給実績（令和6年度決算）	1,986,200円
手当の種類（手当数）	6種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（令和6年度決算）	16,832円
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和6年度決算）	57.6%
内容	①高度救命処置手当 1回 1,000円 ②救急業務手当 1回 100～200円 ③機関手当 1回 100円 ④災害業務手当 1回 200円 ⑤救助業務手当 1回 200～500円 ⑥救急艇出動手当 1回 200円

(4) 一般会計における時間外勤務手当

年度	支 給 総 額	職員1人あたりの支給年額
令和6年度	50,852,512円	266,243円
令和5年度	41,868,091円	219,204円

(5) 一般会計におけるその他の手当（令和7年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者：3,000円、子：11,500円 2 その他の扶養親族：1人につき、6,500円 3 特定扶養（満16歳～22歳までの子）：1人につき、5,000円加算 ○ 国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員：28,000円を限度に家賃に応じて支給 ○ 国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1 交通機関などの利用者：55,000円を限度に運賃に応じて支給 2 交通用具の利用者：使用距離に応じて、2,000円～32,700円を支給 ○ 国の制度との異同：1については、国と同じ 2については、国は2,000円～31,600円を支給

6. 特別職の報酬等

（令和7年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額
管 理 者	年額	69,000円	情報公開・個人情報保護審査会委員	日額	30,000円
副 管 理 者	年額	60,000円	弁護士知識経験者	日額	7,400円
議 会	議長	年額	リニア・アーク美術館協議会委員	日額	7,400円
	副議長	年額			
議 員	年額	46,000円			
監査委員	議会選出	日額	ふるさと市町村園計画広域活動計画策定住民協議会委員	日額	7,400円
	識見を有する者	日額			
教育委員会	教育長	年額	地方公務員法第三条第三項第二号及び第三号に掲げる特別職の職員	日額	予算の範囲内で任命権者が定める額
	委員	日額			

7. 職員の勤務条件、サービス、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間/1日	始業時刻	終業時刻	休憩時間
7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から午後1時まで

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日取得可能
病欠休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇（主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内 忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日 等 夏 季 休 暇：6月から10月までの期間において3日以内 産前・産後休暇：産前8週間以内の期間、産後8週間 育児時間休暇：1日1時間又は1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：6か月の範囲内で必要な連続した期間

(3) 育児休業の状況（令和6年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	14人	0人	14人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（令和6年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員のサービスの状況

職員の服務規律に関しては、次の組合条例等に規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

- ①気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の服務に関する規則
- ②気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の服務の宣誓に関する条例
- ③気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（令和6年度）

①職員研修の実施状況

区 分	研 修 名 等	受講者数（延べ数）	
宮 城 県 消 防 学 校	専科教育	危険物科 2人	
		特殊災害科 2人	
	幹部教育	初級幹部科 2人	
	特別教育	救急救命士再教育	2人
		救急隊員再教育	2人
		救助隊員再教育	2人
	女性消防吏員特別講習	1人	
消防大学校	総合教育 幹部科	1人	
救急救命東京研修所	救急救命士養成	2人	
その他（宮城県主催等）	ハラスメント研修、市町村職員研修 ほか	301人	

②勤務成績の評定の状況

業務・能力・態度評価による人事評価結果を勤勉手当に反映しています。

8. 職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（令和6年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数(延べ数)
定期健康診断(春季・秋季)	305人
人間ドック等(脳検診含む)	68人
各種検診(各種がん検診等)	243人

(2) 公務災害の認定状況

区 分	認 定 件 数
公 務 災 害	0件
通 勤 災 害	0件

9. 公平委員会の状況（令和6年度）

区 分	認 定 件 数
勤務条件に関する措置要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申し立ての状況	0件

# 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

地方公務員法第58条の2及び気仙沼・本吉地域広域行政事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第4条の規定により、下記のとおり公表します。

## 1. 職員の任免及び職員数に関する状況

### (1) 職員の任免

#### ① 採用者・退職者

区分	採用者数	退職者数
一般行政職	0人	0人
消防職	4人	3人
合計	4人	3人

#### ② 退職事由別退職者数

区分	定年退職	勸奨退職	自己都合退職など	計
退職者数	2人	0人	1人	3人

#### ③ 再任用の状況

区分	新規任用	任期更新	計
再任用者数	1人	2人	3人

### (2) 部門別職員数の状況

区分	部門	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		令和7年度	令和6年度		
事務局	正職員	6人	7人	△1人	
	会計年度任用職員	1人	0人	1人	
美術館	正職員	5人	5人	0人	
	会計年度任用職員	7人	7人	0人	
消防	正職員	187人	185人	2人	定年退職△1人、自己都合退職△1人、再任用契約満了△1人、組合事務局解雇派遣1人、新規採用4人
合計		206人	204人	2人	

## 2. 人件費の状況（一般会計決算）

区分	歳出額(A) 千円	実質収支 千円	人件費(B) 千円	人件費比率(B/A)	(参考) R5年度の 人件費比率
令和6年度	2,296,227	28,258	1,608,779	70.1%	80.0%

## 3. 職員給与の状況

### (1) 職員給与費の状況（一般会計の当初予算）

区分	職員数(A)	給与				1人あたり給与費(B/A) 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤労手当 千円	計(B) 千円	
令和7年度	206人	797,804	262,401	324,775	1,384,980	6,723

- ※1 職員手当には退職手当を含みません。  
※2 特別職に支給される報酬は含みません。

### (2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	294,247円	323,838円	44.1歳
消防職	324,547円	429,074円	38.4歳
宮城県（一般行政職）	330,820円	424,419円	42.3歳
国（一般行政職）	332,237円	414,480円	41.9歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

### (3) 職員の初任給の状況

(令和7年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 220,000円	宮城県 (一般行政職)	大学卒 227,400円
	高校卒 188,000円		高校卒 196,100円
消防職	大学卒 251,800円	国 (一般行政職)	大学卒 220,000円
	高校卒 211,600円		高校卒 188,000円

## 4. 職員数等の状況

### (1) 一般行政職の級別職員数の状況（令和7年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	主査 主任	主幹	主幹	館長 事務局長 次長	事務局長	
職員数	8人	1人	2人	1人	4人	2人	1人	19人
令和7年度	42.1%	5.3%	10.5%	5.3%	21.1%	10.5%	5.3%	100%

### (2) 消防職の級別職員数の状況

(令和7年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主査 係長	係長	指揮隊長 出張所長 課長補佐 当直司令	次長 課長 副参事 分署長	消防長	
職員数	37人	54人	31人	27人	27人	10人	1人	187人
構成比	19.8%	28.9%	16.6%	14.4%	14.4%	5.3%	0.5%	100%

## 5. 職員手当の状況

### (1) 期末手当・勤労手当支給割合（令和7年4月1日現在）

区分	手当の内容				
	区分	6月期	12月期	年計	増減(対前年度)
期末手当 勤労手当	支給割合				
	期末手当	1.250月分	1.250月分	2.500月分	0.050月分
	勤労手当	1.050月分	1.050月分	2.100月分	0.050月分
	計	2.300月分	2.300月分	4.600月分	0.100月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%～15%					

### (2) 退職手当支給率

(令和7年4月1日現在)

区分	手当の内容				
退職手当	区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
	自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.7090月分
勸奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分	
1 その他の加算措置：定年前早期退職特例措置（2～20%加算） 2 1人あたり平均支給額：22,360千円					

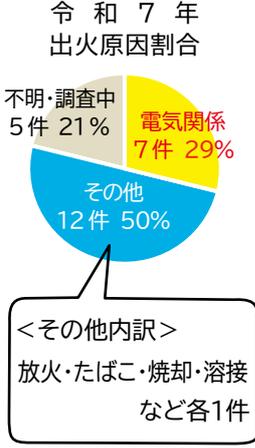


# 広域消防

## 令和7年消防統計

### 令和7年の火災について

当広域管内における令和7年の火災件数は24件(前年比5件増)で、気仙沼市15件、南三陸町9件でした。火災種別は建物火災が11件、次いでその他火災が10件、車両火災が3件発生しました。出火原因は、リチウムイオン電池を含む電気に関係する火災が近年増加傾向にあります。火災による死者は2人(昨年比2人増)、負傷者は5人(昨年比3人増)でした。



### 電気火災の事例・対策

【電気配線による火災】  
家人が自分でコンセントを増やすために配線した電気コードから出火した。

**注意**  
コンセントの増設・交換、配線の変更・接続は電気工事士しかできません。

【電気火災対策のポイント】  
▽電気コードの異常発熱、出火が多くなるので、コードの上に重いものを置かない。



みなみちゃん かひえちゃん  
広域消防女性消防吏活躍推進  
オリジナルキャラクター

▽コードを束ねたままで使用しない、延長コードの消費電力を確認し、それ以上の使用はしないことなどがあげられます。



### 大規模な地震に備えて 感震ブレーカーの設置を!

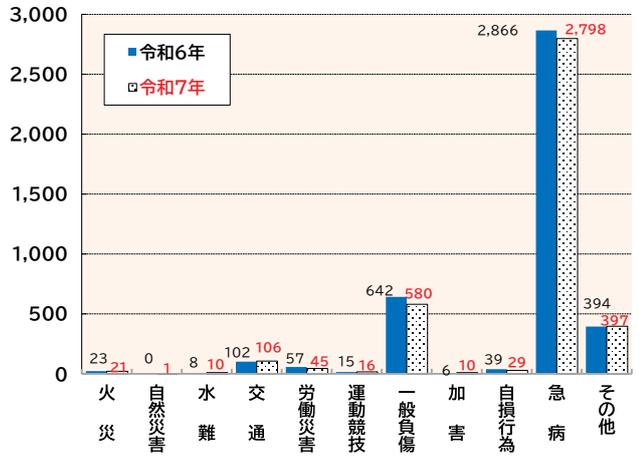
感震ブレーカーは、地震の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。様々な種類がありますのでご家庭に合ったタイプを選び、設置を検討しましょう。

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(内蔵型)
約5~8万円	約2万円
電気工事が必要	電気工事が必要
簡易タイプ	コンセントタイプ
3,000~4,000円程度	約5,000~2万円
電気工事が不要	電気工事が必要なものとコンセントに差し込むだけのものがある

### 令和7年の救急について

令和7年の救急件数は、過去最多を記録した前年と同様に、2年連続で4000件を超え、救急出動は4013件で、3691人が搬送されました。

これは、一日平均約11回救急車が出勤し、圏域住民の約17人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で139件、搬送人員で152人の減少となつていいます。搬送人員の割合として、事故種別では急病が全体の約70%、年齢別では65歳以上の高齢者が約77%を占めています。また、傷病程度別では入院加療が必要な重症が約11%、中等症が約55%に対し、入院加療を必要としない軽症が約32%を占めています。



### 救急車の適正利用にご協力ください

令和7年の出動件数4013件のうち不搬送が335件あります。そのうち辞退・拒否等は163件、誤報・いたずら等によるものは2件ありました。

本当に救急車が必要な方のために救急車の適正利用をお願いします。宮城県は、夜間・休日の急な病気やけがで救急車を呼ぶべきか迷うときや応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設しています。看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご利用ください。

◆おとな救急電話相談 井7119 毎日24時間  
◆子ども夜間安心コール 井8000 毎日19時~翌8時

### 令和7年中の不搬送件数



# 林野火災(山火事)を防止するために



## 林野火災注意報・警報の運用が開始されました

令和7年2月26日に岩手県大船渡市で発生した火災を受け、林野火災を防止するために令和8年1月1日から「林野火災注意報」「林野火災警報」の運用を開始しました。これは、乾燥・強風時、雨量が少ない時に発令され、火入れ、たき火、屋外での喫煙などの火の使用の制限を受けます。

発令した場合には、気仙沼市・南三陸町の公式LINE、防災行政無線での広報、消防本部ホームページへの掲載のほか、消防車両で巡回を行い警戒、周知を行っていきます。

詳しくは、消防本部ホームページのお知らせをご覧ください。



消防本部 HP  
林野火災注意報・警報に関する記事が閲覧できます。

## たき火の届出が明確化されました

屋外での焼却行為は、火災との見間違いの防止や取扱いについて注意・指導を行うため消防署への届出が必要

です。  
**(たき火も届出が必要です)**

### 届出が必要なもの(炎をあげ、火の粉が発生するもの)



暖をとる行為



一般的なたき火



野焼き



ひじきのボイル

### 届出が不要なもの(専用の器具により本来の使用方法で行うもの)



バーベキュー



七輪やキャンプ用具での調理



わかめのボイル

### たき火とは？

- ①火を使用する設備、器具を使わずに火をたくこと、またはこれらの設備、器具による場合でも
- ②本来の使用方法によらないで火をたくことや、
- ③炎を上げ、かつ、火の粉が飛散する場合があります。

該当する

該当しない



届出が不要な行為でも、林野火災注意報・警報が発令されているときは、火の使用の制限を受けることがあります。

## 宝くじの助成金で備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターから、令和7年度コミュニティ助成事業の決定を受け、訓練用消火器や模擬消火訓練装置などの備品を整備しました。

これらの備品は宝くじの社会貢献広報事業の一環として、地域の防災組織育成を図るため、各種防災訓練などで活用されます。

<整備された備品>

- ・訓練用消火器 2本
- ・模擬消火体験装置  
(楽々消防隊 M 型、LP ガス容器含む)



▲模擬消火体験装置と訓練用消火器



▲消火訓練の様子



# リアス

## リアス・アーク美術館からのお知らせ



### 開館時間

午前9時30分～午後5時  
※最終入館は午後4時30分まで

### 休館日

月・火曜日、祝日の翌日(土日祝除く)  
月曜祝日振替休館(同週の水曜日)  
年末年始・メンテナンス休館

### 常設展観覧料

一般:700(600)円  
大学生・専門学生:600(500)円  
高校生:500(400)円  
小・中学生:350(250)円  
※()は20名以上の団体料金  
※圏域内小中高生は「リパス」が「無料」で利用可!

### 所在・お問合せ先

〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢138-5  
TEL:0226-24-1611  
FAX:0226-24-1448  
Email:riasark.m@nifty.com  
http://www.riasark.com



4月よりホームページ・Eメール  
アドレスが変わります。ご注意  
ください!新アドレスはこちら

ホームページ

<https://www.kesennuma.miyagi.jp/riasark>

Eメール

[riasark.m@kesennuma.miyagi.jp](mailto:riasark.m@kesennuma.miyagi.jp)

## 気仙沼市への移管について

既報のとおり4月からリアス・アーク美術館が  
当広域組合から「気仙沼市へ移管されます。

現在の管理運営は、気仙沼市と南三陸町の  
一市一町(圏域※)で構成する気仙沼・本吉地  
域広域行政事務組合が行っていますが、これ  
からは「気仙沼市」が担うこととなります。

開館当時設立した基金残高の減少と各市  
町の出資金を財源とする次期活動計画の策  
定が困難なことから、現行の活動計画が終了  
となるタイミングでの移管となります。

円滑な移管に向け、これまで「リアス・アー  
ク美術館移管準備担当者検討委員会」を開催  
し、規約や条例の制定、改廃、組織機構、運営  
体制などの確認や課題を解決する複数の部  
会により、各種の対応方針・方策等の検討を  
進めてきました。

令和8年4月1日より気仙沼市による管  
理運営がスタートします。これからの活動に  
もご注目ください。

※開館の平成6年当時、圏域は気仙沼市、志津  
川町、津山町、本吉町、唐桑町、歌津町の一市五町  
で構成されていました。

展覧会事業などは、移管後も大きな  
変化はなく、これまでの活動を継承し  
ていくこととしています。

これは過去の蓄積を最大限活用し  
ていくという方針によるもので、公募  
や常設展での紹介地域の対象エリア  
もこれまでと変わらず南三陸町を範  
囲に含みます。

また、圏域(気仙沼・南三陸)内の小  
中学生に配布しているフリーパスポー  
トもこれまでどおり利用できます。

## 令和8年度 展覧会予定

### 常設展

生活史・美術・災害史

### ①歴史・民俗資料展示

三陸地域の歴史・生活文化を【食】を  
軸として紹介しています。

### ②収蔵美術作品展示

東北・北海道を中心とした当館ゆか  
りの美術家の作品を紹介します。

③東日本大震災の記録と津波の災害史  
現場写真と被災物に解説を添え、過  
去の津波の資料も併せて紹介します。

### 企画展

絵画・彫刻・資料写真文化祭

4月8日(水)～5月31日(日)

食と地域の暮らし展 Vol.9

わが青春の気仙沼市役所物語

私たちの生活を66年にわたって支えて  
きた現庁舎の写真やエピソードなどを通  
じ、その歴史や価値を見つめ直します。

6月13日(土)～8月30日(日)

N.E.blood 21 Vol.92

星和真展 (山形県在住)

動物や風景などをモチーフに抽象化し  
た油彩画を制作している作家です。約25点  
の油彩画作品を展示します。

N.E.blood 21 Vol.93

石川優太展 (岩手県在住)

絵画を制作しつつ、和食料理店を営む  
異色の作家です。人体や生命をテーマとし  
た作品約25点を紹介します。

9月25日(金)～11月1日(日)  
新一方舟祭2026

当館主催の市  
民参加型文化祭。  
表現活動を行う  
方々の絵画・写  
真・手工芸等の展  
示や楽器演奏会  
などを週替わり  
で紹介いたします。



11月11日(水)～12月5日(土)  
リアス・ジュニア絵画コンクール展

気仙沼市・南三陸町の小学生を  
対象とした絵画公募展です。夏休  
み明けに学校を通じて作品を募集  
します。賞品もありますよ!

令和9年2月6日(土)～3月22日(月)

N.E.blood 21 Vol.94

菅野麻衣子展

(岩手県在住・絵画)

N.E.blood 21 Vol.95

佐野美里展

(宮城県在住・木彫)

\*他にも市立小中学校作品展などの共催展や  
当館主催のクラフト教室などのセミナー  
が、予定されています。詳細は「令和8年度  
展覧会スケジュール」をご覧ください。

\*展覧会の会期等は都合により変更となる場  
合があります。ご利用の際は事前にチラシや  
ホームページにてご確認ください。

